

簡易式ペットボトルロケット

ゴム栓に、ボールの空気入れの挿入金具をつきさす。ペットボトルに少量の水を入れ、三脚を発射台にする。ゴム栓でペットボトルの口をふさぎ、空気入れで空気を入れていくと、自然に発射する。水の量を調節するのがミソだ。水がかかることがあるので、暑い時期にお勧めだ。

本物のペットボトルロケットは、100メートル近く飛ぶのでかなり広い場所で行なければならない。簡易式だとよく飛んでも15メートルぐらいなので、学校の運動場でしても危険ではない。



ゴム栓に空気入れの挿入金具をつきさす。



三脚を発射台にする。